

蒲生干潟の自然と生物の現状

蒲生を守る会 熊谷佳二



2022 7.10

蒲生干潟の景観 1

堤防から 蒲生干潟全景(上) 内陸側工業地域(下)

バイオマス火力発電所 石炭火力発電所



2022 7.10 1

蒲生干潟の景観 2

日和山から 干潟北側(上) 干潟南側(下)



希少種ハマツナの花 2021 9.13

希少種ハマツナの緑の絨毯が広がる干潟 2021 9.13




塩生植物 ハマツナ
宮城県準絶滅危惧 2015 6.21

2021 9.13₂

蒲生干潟の景観 3

日和山背後の緩衝緑地 南側(上) 北側(下)

バイオマス火力発電所



石炭火力発電所



2022 7.10

緩衝緑地の重要性、ますます高まる！

3

植生

ハマツナ(優占種)
ヨシ、シオクグ生育地拡大



シオクグ 2022 5.22

海浜植物も生育地を広げる

ハマボウフウ
2021 6.13



ハマエンドウ 2022 5.16



ハマボックス
2021 6.13



ハマナス 2022 5.22



注意！
ヨシ群落に埋もれそう…

ハマヒルガオ 2022 5.22

底生動物1

干潟生きもの調査結果 2013 8.~2022 6.



調査年	レドリスト種数	出現種数
2013 8/4	6	26
2014 8/24	2	14
2015 7/28	0	17
2016 7/31	1	13
2017 7/30	1	15
2019 7/28	0	14
2020 8/23	0	12
2022 6/28	9	31

調べた干潟
A: 日和山前
B: 北側奥部
C: 北東部

5

底生動物2



ソニーTECと協同開催の観察会

河口で貝採りをする人々 2020 6.7

注意！

絶滅危惧・準絶滅危惧
9種類確認！




底生動物3

チゴガニの
ウェーピング(動画) ⇨
(チゴガニダンス)
*繁殖ディスプレイ
2022 7.11
ヤマトオサガニ
2022 7.11 ⇩



泥質干潟の増加
⇩
多様性高まる

7

底生動物4 ヤマトカワゴカイの生殖群泳(動画)



2022 4.16 19:20頃ピーク 今年はかなり多かった!

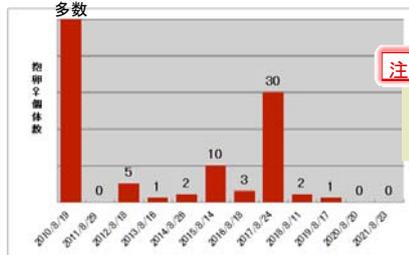
8

底生動物5

アカテガニの産卵放仔(幼生放出)



アカテガニ抱卵雌 2010 8.19
宮城県準絶滅危惧



注意!
・2017年以降、激減
・小型個体のみ確認
・生息地の保護必要

9

鳥類1 震災後の種数と個体数の推移(月例調査平均値)



- ・2015、2016をピークに減少
- ・植生の回復に伴い、草地を利用する陸鳥が増加
- ・シギチドリ類は種数・個体数ともに2020年以降、減少
- ・2022年春季は多様性の低下目立つ(佐場野、2022)



鳥類2 コアジサシの営巣



震災前、日和山にあった看板
2005 5.5

シロチドリ幼鳥(絶滅危惧Ⅱ類・宮城県準絶滅危惧)
2017 6.18



コアジサシ(絶滅危惧Ⅱ類)
2022 7.11

- ・2019年 1つがい営巣・幼鳥2羽(佐場野)
- ・2020年 約20羽、21年約40羽飛来
→幼鳥1、0羽の確認のみ(佐場野)
- ・2022年 約40羽飛来 幼鳥1羽、ヒナ4羽(7.11)
- ・看板とロープ張りの効果大
- ・絶滅危惧種のシロチドリも営巣

11

魚類・昆虫



カレイ類稚魚(イシガレイ?)
2022 5.22



数多くのイシガレイ

「...これまでにないほど数多くの稚魚が確認され、...」



カワランミヨウ 2022 7.10
(環境省絶滅危惧ⅠB 宮城県準絶滅危惧)



ヤマトマダラバッタ
(宮城県準絶滅危惧) 2018 10.14

干潟は氾濫原、遊水池→周辺の浸水を防ぐ…流域治水



干潮時 2019 10.21 自然保護課

持続可能性とレジリエンス
を高める景観再生

めざせ、新しい自然再生！

